

1月の道徳(6年)

○教材名 「その思いを受けついで」

○ねらい じいちゃんのがし袋の手紙を用意した理由について話し合うことをとおして、さまざまな人々とのつながりの中で命が支えられていることへの考えを深め、限りある命を大切にしようとする心情を育てる。

○学習したこと

「命」について考えたことを、自分なりにまとめることができました。生きることがあたりまえなのではなく、一日一日感謝しながら生きることが大切であると知り、元気いっぱい生きているすばらしさを実感していました。また、友達との話し合いをとおして、自分の考えを広げることができました。



最初から生まれた人たちが今日までつないでくれたから大事だと感じた。
大きな宇宙の中で自然ができて生命が誕生したのは奇跡以上のことで生まれてきたのなら、強く生きたいと思えました。今を大切に生きたい。

とても身近な物だけじゃ何よりも一
采田大切に失なってしまうたら取り
もどせられない物。

命一つで多くの命に感動や幸せを与
えることが出来るは、なんとも美しい切ない
もの。

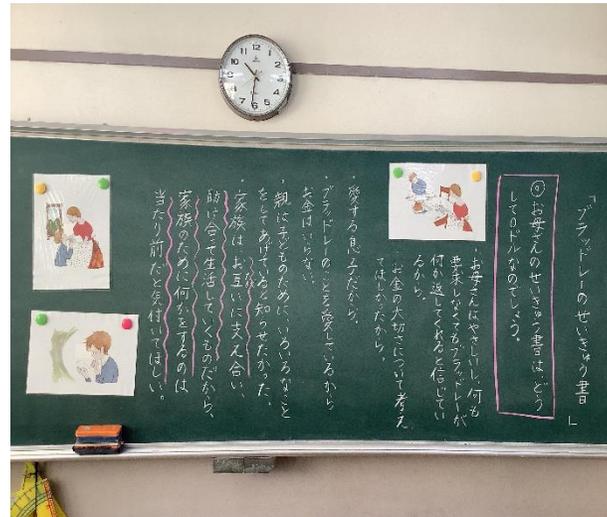
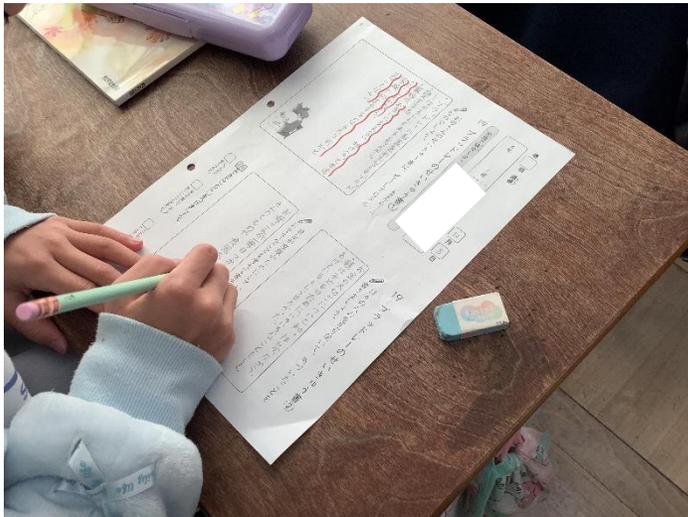
1月の道徳(4年)

○教材名 「ブラッドレーの請求書」

○ねらい お母さんの請求書にこめられた思いについて話し合うことをとおして、家族の大切さに気づき、自分が家族のためにできることを考えて役立とうとする判断力を育てる。

○学習したこと

自分がブラッドレーだったら、お母さんに何というかを考え、役割演技をしました。役割演技後に、どう感じたかを全体で共有することで、家族の大切さについて多面的・多角的に考えさせました。家族のために何ができるかについて、自分との関わりで考えることができました。



1月の道徳(2年)

○教材名 「きゅう食当番」

○ねらい 「わたし」たちの行動について体験的に学ぶことを通して、他者に対する親切心や温かい心についての考えを深め、さまざまな人に関心を向けて、温かな心で接しようとする心を育てる。

○学習したこと

1年生が困っているところを親切にする場面を演じることで、自分だったらどうするかを一人一人が考えることができました。振り返りでは、親切な行為をすると気持ちが良いことや、親切な行為をすると自分にも返ってくるということに気付きました。

